

南部系送水管路図作成業務委託

特 記 仕 様 書

岡山県広域水道企業団

第 1 章 共通事項

第 1 条 （ 目 的 ）

本業務の目的は、岡山県広域水道企業団の送水管路図について、既存管路図（CAD）に新規管路の追加および修正、地形図の差し替えを行い、最新の情報に更新するものである。

第 2 条 （ 適 用 範 囲 ）

1. この仕様書は、岡山県広域水道企業団（以下「企業団」という）が発注する南部系送水管路図作成業務委託（以下「業務」という）に適用する。
2. この仕様書にない事項及び仕様書に疑義を生じた場合は協議の上、実施するものとする。

第 3 条 （ 担 当 職 員 ）

企業団は業務について指示、承諾及び協議を代行させる担当職員を、受託者へ通知する。

第 4 条 （ 用語の定義 ）

本仕様書における指示、承諾及び協議の定義は、次の各号に定めるところによる。

1. 指示とは、企業団の発議により受託者に対し、業務等に関する方針、基準、計画等を示し、実施させることをいう。
2. 承諾とは、受託者の発議により、受託者が企業団に報告し、企業団が了解することをいう。
3. 協議とは、企業団と受託者が対等の立場で合議することをいう。

第 5 条 （ 疑 義 ）

受託者は業務等の実施中に疑義を生じた場合は、速やかに企業団と協議し、その結果を後日疑義が生じないように記録、整理すること。

第 6 条 （ 受託者の義務 ）

受託者は契約の履行に当たって、次の事項に留意しなければならない。

1. 関連法規、法則等諸法令を厳守すること。
2. 業務等で知り得た秘密を、他に漏らさないこと。

第 7 条 （ 業務管理責任者 ）

1. 受託者は当業務における業務管理責任者を企業団に届け出ること。
2. 業務管理責任者は、契約書、設計書及び仕様書に基づき、業務に関する一切の事項を処理すること。

第 8 条 （ 技術者の配置 ）

1. 受託者は業務実施に当たり、管路図作成業務に関する知識、経験を持った技術者をもって実施するとともに、適切な人数を配置すること。
2. 技術者の管路図作成業務の実績を提出すること。

第 9 条 （ 提 出 書 類 ）

受託者は業務の着手及び完了に当たって、企業団の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- (1) 業務管理責任者等の指名通知書
- (2) 業務関係者名簿
- (3) 業務工程表
- (4) 業務完了届
- (5) その他担当職員が指示した書類

第 10 条 （ 工程の変更 ）

受託者は工程表に変更を生じる場合は、変更工程表を企業団に提出し、承認を得なければならない。

第 11 条 （ 打ち合わせ等 ）

担当職員と業務管理責任者は密接な連絡を取り、その連絡事項をその都度記録し、双方確認すること。

第 12 条 （ 協議記録簿等 ）

受託者は第 5 条、第 11 条の事項その他について、後日確認出来るように協議事項、立会人、内容等の記録簿を成果品とともに提出すること。

第 13 条 （ 資料等の貸与及び返還 ）

1. 業務等に必要で、企業団が所有する資料（図書類）等は、業務期間中に限り企業団が受託者に貸与する。
2. 受託者は借用資料一覧表を作成し、企業団に提出する。
3. 受託者は企業団から貸与された資料等を本業務目的以外に使用、複写等をしてはならない。

第 14 条 （ 着 手 ）

受託者は業務着手時にその旨を企業団に報告する。

第 15 条 （ 検 収 ）

受託者は、業務完了を速やかに企業団に報告し、業務管理責任者立会いのもとに完了検収を受けること。

第 16 条 （ 手直し等 ）

1. 受託者は検収時に成果品の不良箇所が発見された場合、速やかに訂正、補足等の措置を行い、再度検収を受けなければならない。
2. 業務完了後に受託者の責に帰すべき理由により、成果品に誤りが発見された場合は、受託者の責において直ちに作業等を行い訂正すること。

第 17 条 （ 成果品の帰属 ）

成果品はすべて企業団の所有であり、企業団の承諾を得ずして他に公表、貸与、使用してはならない。

第 18 条 （ 損 害 賠 償 ）

受託者の責に帰する理由により、企業団及び第三者に損害を与えた場合は、受託者において賠償すること。

第 2 章 管路図作成業務

第 1 条 (業務概要)

企業団所有の管路図（以下既存管路図）や完成図書等、提供を受けた資料および公表されている地形図等により、CAD 形式にて管路図を作成し、データ出力、印刷製本等を行う。

第 2 条 (業務内容)

(1) 管内管路図データ作成

以下の管路図等データを作成する。なお、作成データは AutoCAD で編集可能な形式とする。

① 地形図の差し替え

既存管路図と同様のレイアウトにて、CAD 上に新たな地形データを取込む。

なお、使用する地形データについては、国土地理院の基盤地図情報と同等のものを使用するものとする。

② 管路図（更新）

①で取り込んだ新たな地形データに合うように全ての管路図等を修正し、CAD 上にデータ入力を行うこと。

③ 管路図（新規）

既存管路図作成時点以降に送水管の追加変更等が生じている部分については、企業団所有の竣工図等（紙ベース（CAD データがあるものは CAD データも提供可））を参考に追加修正を行った上で、新たな管路データ等を入力する。

(2) 管内割図データ（全体図）作成

① 管内割図（全体図）データ作成

既存管路図と同様のレイアウトにて、CAD 上に新たな地形データを取込み、その上に「(1)②管路図（更新）、(1)③管路図（新規）」で作成した管路図を参考に管路データ等を入力する。

なお、(1)および(2)の各数量等内訳は下表のとおりとする。

	数量	既存管路図	データ縮尺	備考
(1) 管内管路図データ作成	—	—	—	
① 地形図差し替え	27 枚		1/5,000	
② 管路図（更新）	91km	CAD データあり	1/5,000	
③ 管路図（新規）	5km	—	1/5,000	
(2) 管内割図（全体図）データ作成	—	—	—	
① 管内割図（全体図）データ作成	1 枚	CAD データあり	1/50,000	地形図差し替え含む

※上記管路データ等の入力等には、調整池・ポンプ場・供給地点等の施設およびその他関連する情報を含む（参考図面参照、詳細は担当職員の指示による。）。

(3) 管路図データ出力

作成または修正した管路図のデータを、AutoCAD（DWG 形式）、PDF、ドキュワークス形式にてそれぞれ出力する。

送水管路図については、地形をグレーベースとし、管路、属性情報などは基本的に黒で出図するが、施設場内の流入管、流出管、排水管等について、カラーで色分けを行うこと。

第 3 条 （成果品）

(1) 電子データ

第 2 条(3)で出力したデータを CD、DVD、BD の 3 つのうちどれか（正副 2 枚）に整理・保存し、提出する。

(2) 印刷物

- ①管路図製本版 29 枚分（A2 判見開き製本 A1 サイズ） 5 部(1 部カラー、4 部白黒)
29 枚内訳（凡例 1 枚、管内割図 1 枚、管内管路図 27 枚）

第 4 条 （ 納 期 ）

本委託業務の納期は以下のとおりとする。

自 契約締結日

至 令和 7 年 3 月 14 日